

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

第22回 九州地域エネルギー・温暖化対策推進会議

金融機関との連携による地域特性に応じた
サプライチェーン全体での脱炭素経営の推進
事例について

2025.12.04

株式会社山口フィナンシャルグループ
営業戦略部 営業企画室 係長 和泉 優

株式会社YMFGグロースパートナーズ
課長 原田 慶治

- 当社グループ全体の動き(方針・推進等)と、個別の事例紹介の2パート

1

当社G紹介・方針・推進 (山口FG)

- 金融機関(当社)がGXに取り組む背景
- 当社の営業活動から得た、地域・サプライチェーンでのGX実現に向けた示唆

2

個別事例紹介 (YMGP)

- 地域・サプライチェーンとの協働による、GX取り組みのモデルケースのご紹介

山口フィナンシャルグループについて

YMfg

商号 株式会社山口フィナンシャルグループ

本社所在地 山口県下関市竹崎町4丁目2番36号

代表者 代表取締役社長CEO
棕梨 敬介

総資産 12兆9,934億円

経常利益 524億円

当期純利益 353億円

グループ
従業員数 3,745人

企業
ウェブサイト <https://www.ymfg.co.jp/>

(2025年3月末時点)

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

パーパス(使命・存在意義)

地域の豊かな未来を共創する

ビジョン(将来あるべき姿)

地域に選ばれ、地域の信頼に応える、
地域価値向上企業グループ

ブランドスローガン

この世界で。
この街で。
このじぶん。

ブランドスローガン策定の背景

当社グループのパーパスは「共創」の言葉を含んでいるとおり、すべてのステークホルダーの皆さまにご理解・共感いただいて初めて実現できるものです。パーパスの理念を分かりやすくお伝えするため、一人ひとりが「じぶん」を主語にして捉えられるブランドスローガンを策定しました。

ブランドスローガンに込めた想い

「地域」という言葉は、仕事や未来を限定するものではなく、むしろ無限の可能性を秘めていると私たちは考えています。世界と瞬時に繋がる現代において、「この世界のじぶん」という立ち位置で、「この街のじぶん」を考えたとき、地域の一人ひとりの人生が、日本へ、世界へと影響していくことがみえてきます。私たちは、そんな誇りと考え方をもち、皆さまと 共に歩んでいきたいという想いを、ブランドスローガンに込めています。

(2025年3月末現在)

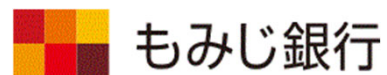


国内 124拠点
(本・支店109、出張所15)

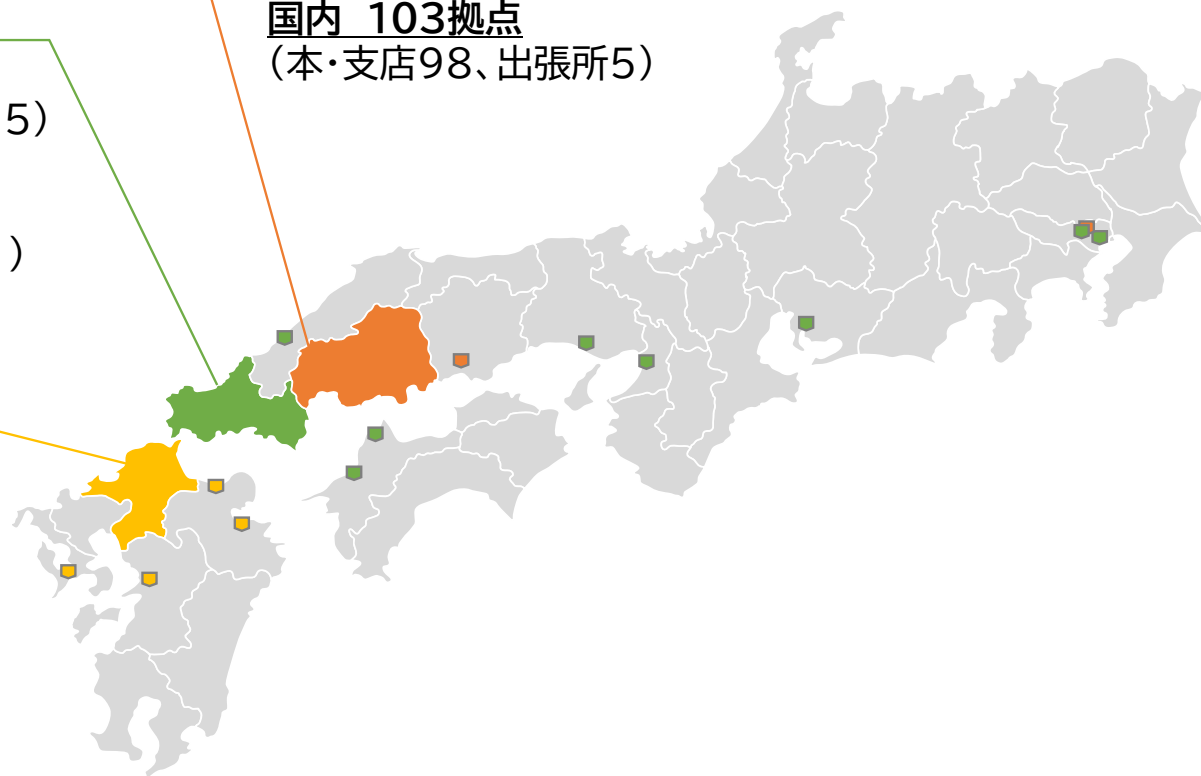
海外 3拠点
(支店2、駐在員事務所1)



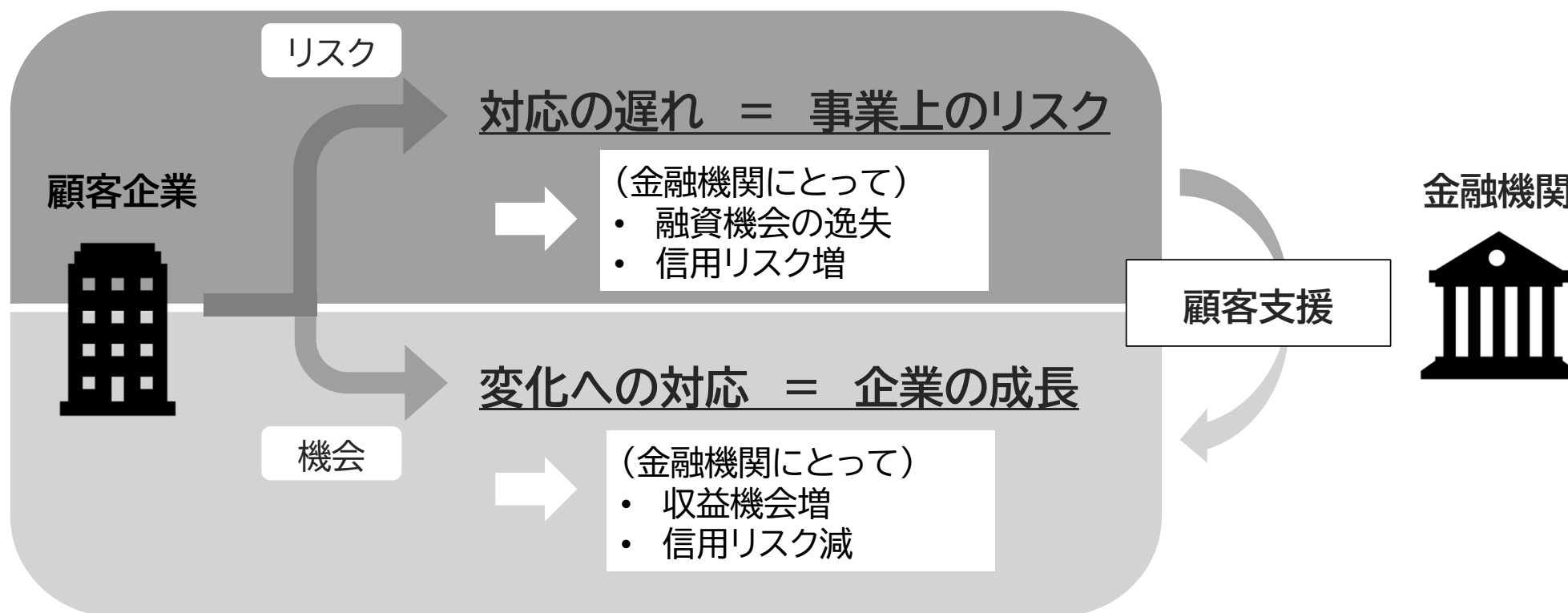
国内 37拠点
(本・支店37)



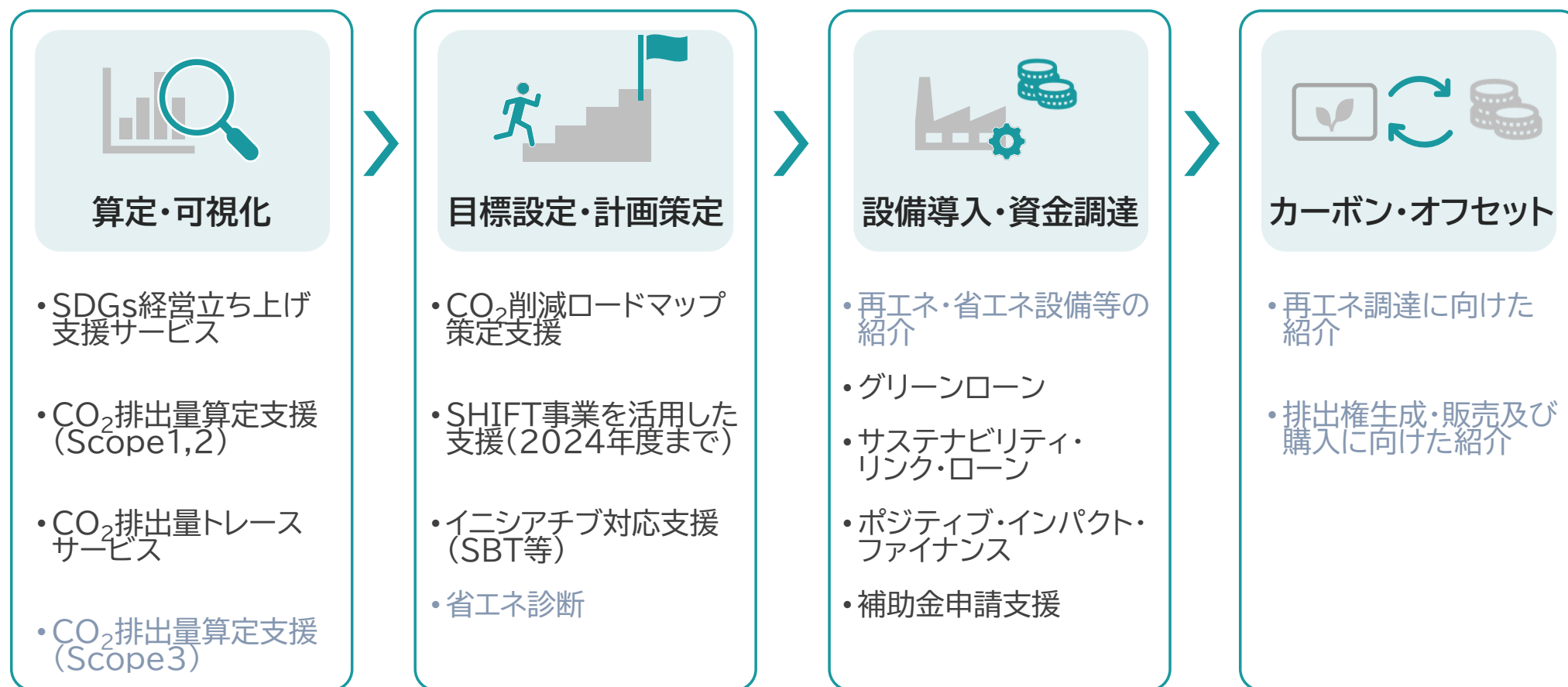
国内 103拠点
(本・支店98、出張所5)



- 顧客企業におけるGXへの対応状況は金融機関のリスク・機会になりうる
- 金融機関は単なる資金提供者ではなく、GXに向けた伴走支援者としての役割を果たすことが重要



- お客さまの取り組みフェーズごとにソリューションをランナップ
- 特に金融機関の本業と親和性の高い、「算定」・「計画策定」については内製化



- 当社営業活動におけるターゲットと顧客企業の反応・ニーズの変遷
- 地域ごとの動向・顧客企業のニーズを踏まえ活動をアップデート

Phase1

立ち上げ・個社別営業

- プライム上場企業と取引のある製造業をターゲットに個社別営業
- 事業への影響が少なく経営における優先度は高くない

Phase2

国・自治体の事業活用

- 国や自治体の既存補助・委託事業の活用による企業の支援
- 金銭的なハードルは下がり、環境やCSR意識の高い企業のニーズ上昇

Phase3

地域特性を反映した政策提言

- 地域の業界・経済団体や大企業と連携した、自治体に向けた政策提言
- 地域特性を反映した自治体事業となり、ニーズ・取り組み意欲高い

- ・ 当社グループの支援のモデルケース
- ・ 地域における自治体・経済団体・業界団体との連携が取り組みの土台

1

推進の土壌づくり



活動
内容

- ✓ 自治体への情報共有・政策提言
- ✓ 大企業の方針の調査・協働
- ✓ 業界団体・経済団体との連携

2

自治体事業活用



活動
内容

- ✓ 自治体の委託・補助事業を活用した、お客さまのご支援
- ✓ 排出量算定・削減計画策定支援が中心

3

削減施策支援



活動
内容

- ✓ 削減計画・SBT認証に基づく削減支援
- ✓ 具体での削減施策の幅出しに省エネ診断を積極的に活用

4

資金提供



活動
内容

- ✓ 削減計画の達成に資する、設備投資支援
- ✓ 取り組みの高度化・意識の醸成を目的としたに向けたSLL等の資金提供

YMFGグロースパートナーズについて

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

- 弊社は山口フィナンシャルグループ100%出資子会社。山口県、広島県、福岡県を主要エリアとして、地域の成長に貢献できるよう日々活動

会社名 株式会社 YMFGグロースパートナーズ

所在地
〔本社〕
下関市竹崎町4丁目7番24号
エストラスト下関センタービル8階
〔広島本部〕
広島市中区銀山町4番10号
もみじ銀行別館3階

設立 2025年7月1日

株主 株式会社山口フィナンシャルグループ

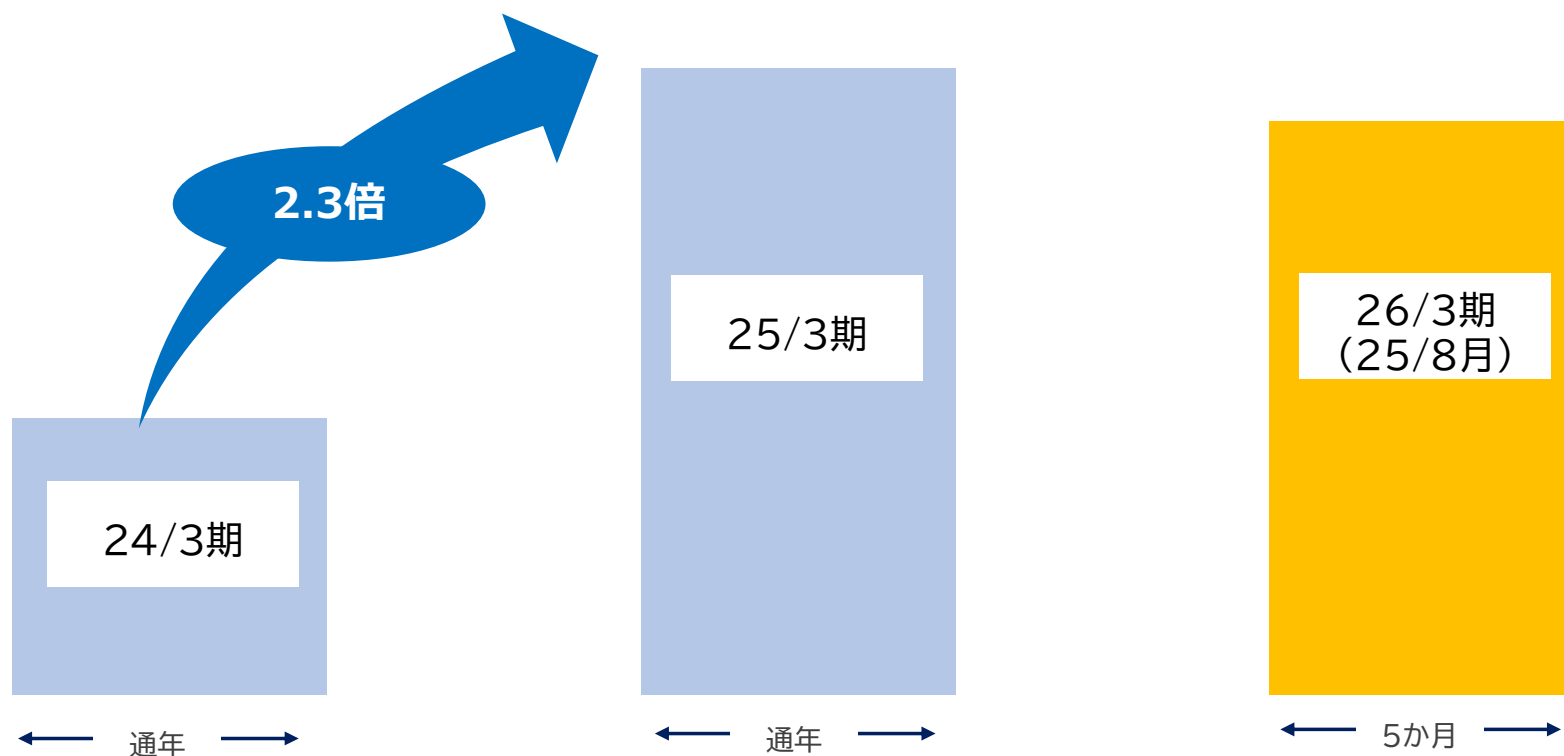
経営理念 パーパス
For Your Growth

ミッション
課題解決のプラットフォーマー

ビジョン
未来に向かい、共に成長し続けるパートナー



- 24/3期よりCN関連サービス提供を開始。25/3期は初年度比で2.3倍に増加。
- 26/3期(5か月経過時点)は、既に昨年度提供件数に迫る勢いで提供件数が伸長
- 各自治体と連携したサービス提供が原動力となっている



山口県下松市について

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

- 山口県下松市は、山口県東部に位置する“ものづくりのまち”



①

【人口と世帯】

- 総人口：56,345人
- 世帯数：27,081世帯
(2025年10月末時点)



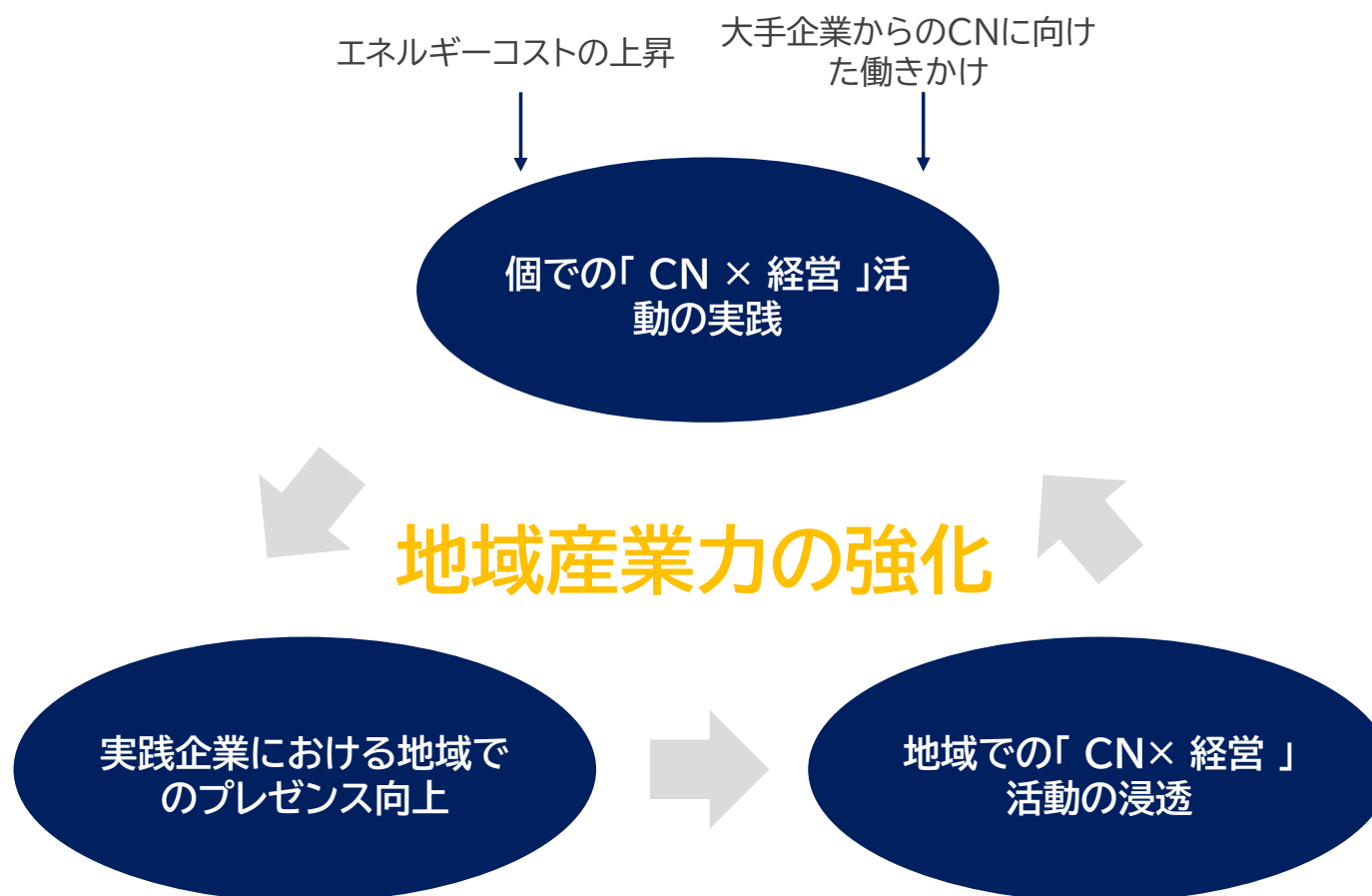
②



③

参照元：①、③下松市HP、②中国地方の輝く企業

- 市内中小企業における「CN × 経営」の取組の実践が域内広域に広がった事例



北九州産業学術推進機構GX推進補助金について

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

- 北九州市ではR6年度よりGX推進補助金が創設され、企業のGX化を後押し

KTQ-GX Challenge 2050

R6年度 新設

GXで企業価値を高める取組を支援します

GX推進補助金 募集開始

北九州GX推進コンソーシアム 加入申込みはこちらから

補助率 **1/2** 交付上限 **500万円** 企業規模 **不問**

北九州市の地域企業のGXの取組の推進と企業価値の向上を図り、北九州市におけるGXに資する新ビジネスの創出及び官民GX投資を促進することを目的として、「北九州産業学術推進機構GX推進補助金」を創設しました。

以下のような取組を支援します。

- ☒ 自社製品・サービスのカーボンニュートラル
- ☒ 新商品・新サービス開発
- ☒ 政府が掲げるGX重点分野への進出

市場調査、事業計画策定、市場開拓、試作品製作 等

補助対象者 (抜粋)

- 北九州市内に事業所(本社、支店、営業所、工場等)を有する者であること。
- 北九州GX推進コンソーシアムに入会していること。
- 自社の温室効果ガスの排出量算定に着手していること。等

補助対象経費

大項目	中項目
I 物品費	土木・建築工事費、機械装置等製作・購入費、消耗品費、保守・改修修理費
II 労務費	従業員費、補助員費
III その他経費	旅費、外注費、知的財産権関連経費、諸経費 ※旅費はI～III合計額の20%以内

補助対象期間 公募開始日(令和6年10月1日)～令和7年1月31日

本補助金の詳細や申請書のダウンロード、提出方法等はここから
北九州学術研究都市ホームページ <https://www.ksrp.or.jp/blog/archives/009501.html>

▼申請書提出期間: 令和6年10月1日(火)～令和6年10月31日(木)

提出先 お問合せ

<本補助金提出先・問い合わせ先> 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号
公益財団法人北九州産業学術推進機構 (FAIS) TEL:093-695-3006 FAX:093-695-3018
産業連携センターGX推進部 担当: 磯部、三戸 E-mail: fais-gxsushin@ksrp.or.jp

北九州GX推進コンソーシアム

令和7年度GX推進補助金 二次公募

KTQ-GX Challenge 2050

9月1日～30日

GXで企業価値を高める取組を支援します

北九州市の地域企業のGXの取組の推進と企業価値の向上を図り、北九州市におけるGXに資する新ビジネスの創出及び官民GX投資を促進することを目的として、北九州産業学術推進機構GX推進補助金事業を実施します。

以下のような取組を支援します

01 自社製品・サービスのカーボンニュートラル化

02 新商品・新サービス開発

03 政府が掲げるGX重点分野への進出

市場調査、事業計画策定、市場開拓、試作品製作 等

☒ 企業規模不問 ☒ 補助率2分の1 ☒ 交付上限500万円

補助対象者 (抜粋)

- 北九州市内に事業所(本社、支店、営業所、工場等)を有する者であること。
- 北九州GX推進コンソーシアムに入会していること。
- 自社の温室効果ガスの排出量算定に着手していること。等

補助対象経費

大項目	中項目
I 物品費	土木・建築工事費、機械装置等製作購入費、消耗品費、保守・改修修理費
II 労務費	従業員費、補助員費
III その他経費	旅費、外注費、知的財産権関連経費、諸経費 ※旅費はI～III合計額の20%以内

補助対象期間 公募開始日(9月1日)～令和8年1月30日

本補助金の詳細や申請書様式は、下記のホームページよりダウンロードできます。
北九州学術研究都市ホームページ <https://www.ksrp.or.jp/collaboration/gx/gx-grant2.html>

提出先 お問合せ

<本補助金提出先・問い合わせ先> 〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号
公益財団法人北九州産業学術推進機構 (FAIS) TEL:093-695-3006 FAX:093-695-3018
産業連携センターGX推進部 担当: 三戸、磯部 E-mail: fais-gxsushin@ksrp.or.jp

- 自治体固有の産業構造理解、地域企業が抱える課題を正しく認識することが、推進の土壌づくりには不可欠

推進の土壌づくり



活動 内容

- ✓ 自治体への情報共有・政策提言
- ✓ 大企業の方針の調査・協働
- ✓ 業界団体・経済団体との連携

自治体固有の
産業構造

地域企業が抱え
る課題

行政や商工団体
などを巻き込ん
だネットワーク